

二〇二三年度 大学院(修士課程)自己推薦入学試験問題

(実践真宗学研究科)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年10月19日(日)

問一 次の語句を説明しなさい。(罫線縦書の解答用紙に記入のこと)

- (1) 無明
- (2) 生因三願

問二 次の漢文を書き下し文にし、簡潔に意訳しなさい。また、和讀を意識しなさい。なお漢文の書き下し文と意訳は、一般的なものでも、親鸞の読み方にもとづくものでも構いません。(罫線縦書の解答用紙に記入のこと)

- (1) 諸有衆生 聞其名号 信心歡喜 乃至一念 至心回向 願生彼国 即得往生 住不退転 唯除五逆 誹謗正法
- (2) 憶念弥陀仏本願 自然即時入必定 唯能常称如来号 応報大悲弘誓恩
- (3) 願力成就の報土には
自力の心行いたらねば
大小聖人みなながら
如来の弘誓に乗ずなり

問三 今年(二〇二三年)は戦後八〇年という節目の年にあたり、新聞やテレビでも先の大戦や平和に関する特集が数多く組まれています。戦争の記憶の風化が懸念されるなかで、また、紛争や対立・格差といったいのちを脅かす問題が起こり続けている昨今の世界情勢のなかで、安定的な平和構築に向けて一人一人が努力を積み重ねていくことは、今後ますます大切なことでしょう。では、宗教者・仏教者の立場からは、どのような平和への貢献が可能でしょうか。考えるところを自由に論述しなさい。(五百字〜八百字程度 マス目縦書の解答用紙に記入のこと)